

通信指令業務改善事業

平成26年度、平成27年度の2箇年をかけ、消防救急無線のデジタル化整備を完了させたことで、消防本部に設置した基地局を中心に不感地帯が大幅に減少し、市内全域で基地局からの指令や消防車両間の交信が出来るようになり、平成25年度に整備した高機能消防指令センターと連動し、119番の受信から指令までの伝達等が迅速、確実に実施できることとなった。

また、救急安心センターおおさかや病気やケガをしたときの医療機関の照会、その他消防に関する多様な相談を受け付ける窓口としての役割も担い、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指している。

1. 消防救急デジタル無線について

計画通り消防救急デジタル無線の整備を実施したことで、高機能指令センターが一層充実することとなり、迅速・確実な災害の初動体制が確立した。

消防救急デジタル無線 199,800,000円

2. 救急医療相談について

救急医療相談の窓口となる「救急安心センターおおさか」は、大阪府下43市町村において分担金を支出し、共同運用を開始した。医師、看護師、相談員が24時間常駐し、近隣病院の照会や、応急手当の方法などの紹介、救急車の必要時には本市119番へ電話転送されるなど、救急医療相談の窓口として機能向上を図り、市民へ情報と安心の提供を行った。

救急安心センターおおさか事業運営費分担金 2,341,000円

< 救急安心センターおおさか利用件数 >

内容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病院案内	46	64	57	64	66	55	49	63	56	63	70	72	725
医療相談	57	78	53	75	91	79	75	77	65	93	94	85	922
転送救急事案※	4	1	3	2	2	2	1	4	1	3	3	2	28
その他	2	6	8	4	4	4	8	3	6	6	6	5	62
合計	109	149	121	145	163	140	133	147	128	165	173	164	1737

〔 ※ 転送救急事案 … 救急安心センターから本市へ救急車の必要から電話転送された事案 〕